

hand in hand

大曲支援学校
地域支援部
令和8年9月25日

hand in hand ハッピーハンド 勉強会

7月16日に2回目のhand in hand勉強会を行いました。今回は、6名の一般企業の方々に御参加いただき、校内や寄宿舎の見学、高等部の作業学習体験を実施しました。意見交換の場や事後アンケートでは、各企業の現状についてのお話や見学の感想などをお寄せいただき、本校にとっても大変充実した勉強会となりました。たくさんの御意見をありがとうございました。一部を紹介させていただきます。



- ・初めて参加した。障がいの程度に合わせて様々な工夫がされていて感心した。企業は人手不足のため人材を欲している。働く力を身に付け、どうか就職できるよう頑張ってもらいたい。
- ・何度か卒業生の働いている職場を見学させていただいたが、みんな真剣に働いていて感動した。今回も作業学習、そして県南で唯一の寄宿舎での生活を通して将来に向けて頑張っている姿を見ることができた。今回のように体験もできる研修会はとてもよかった。多くの人に参加してほしい。
- ・初めて木工班を体験でき、貴重な経験だった。生徒は学びの時間と日々の生活の中で頑張っていることが分かった。一生懸命取り組んでいる姿がよかった。このような研修はとても内容的にも素晴らしいので今後参加者も増えると思う。
- ・支援学校の中に入るのは初めてだったが、どんな取組をしてどんな生徒がいるのかが分かった。知ることが大切。アットホームな雰囲気がよい。

今後の研修会の予定

☆10月30日(金) 14:15~15:40

対象：地域の学校、保育園等の職員の方



教材・教具の紹介と
展示を行います。
希望の方は学校見学
が可能です。
(13:00~14:00)

☆11月19日(木) 8:55~10:50

対象：地域の関係機関の方



主に小学部の見学を
行います。
情報交換や質疑応答
の時間も設ける予定
です。

※関係の皆様には、詳細を別途お知らせさせていただきます。

みんなが分かりやすい授業づくり

通常の学級には、障害のある児童生徒を含め、多様な児童生徒が在籍していると思われます。どの子どもにとっても安心して学べる学級の中で、分かりやすい授業づくりを進めることが大切です。

子どもたちが主体的、意欲的に活動し、「分かった」「できた」を実感できるように行われる「指導の工夫」の観点と具体例について、秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドラインには次のように掲載されています。

○全ての子どもが参加できるような「指導の工夫」

- ・学級内の理解促進 ～間違いや分からないことを受容し、お互いを認め合う関係づくり
- ・ルールの明確化 ～発言や聞く態度、ノートの書き方等のルールの明確化と共有
- ・刺激量の調整 ～光や音、室温への配慮。学習のねらいや活動に応じた教材の提示
- ・場の構造化 ～整理整とん、活動や動線を考慮した教材の配慮
- ・時間の構造化 ～活動の順番や所要時間、終了時刻や目安時間の事前提示

○全ての子どもが理解できるような「指導の工夫」

- ・焦点化 ～学習のねらいの焦点化
- ・展開の構造化 ～学習のねらいを達成するための学習展開を吟味
- ・スモールステップ化～課題達成のための「踏み台」づくり（子どもの実態に応じて活用）
- ・視覚化 ～絵や図、具体物、表、グラフ等の活用、思考の過程をたどることができる板書
- ・動作化・作業化 ～話す、書く、操作する、作る等の活動をバランスよく設定

※秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドラインには、「指導の工夫」を行った上で、必要に応じて行う「個別の配慮」や「個別指導」についても掲載されていますので、御覧ください。

【参照】秋田県教育委員会（R 6.3）：秋田県特別支援教育校内支援体制ガイドライン（四訂版）

相談・見学等の希望がありましたら、御連絡ください。

秋田県立大曲支援学校

教 頭：高橋 和恵（たかはし かずえ） 大川 康博（おおかわ やすひろ）

教 育 専 門 監：菅原 咲希子（すがわら さきこ）

地域支援部主任：丹波 舞子（たんば まいこ）

特別支援教育コーディネーター：佐々木 貴子（ささき たかこ） 葛西 亜樹子（かさい あきこ）

特別支援教育アドバイザー：大沢 貴子（おおさわ たかこ）（大仙市立花館小学校内）

〒014-0072 秋田県大仙市大曲西根字下成沢 122

電話：0187-68-4123 FAX：0187-68-4122

部報「hand in hand」や依頼状の様式等は、大曲支援学校 HP からダウンロードできます。